

エコアクション21 環境経営レポート 2024年度版

(2024年10月1日～2025年9月30日)



作成日 2026年1月16日

三友工業株式会社

目 次

1.組織の概要	1
2.認証・登録の対象範囲	1
3.環境経営方針	2
4.環境経営目標	3
5.環境経営計画	4
6.環境経営計画に基づく取組内容	5
(1) エコアクション21実施体制	5
(2) 2024年度に実施した環境への取組	9
7.環境経営目標及び環境経営計画の実施・取組結果と その評価、並びに次年度の計画	10
(1) 環境経営目標の実績	10
(2) 環境経営計画の実施・取組結果とその評価	11
(3) 次年度の計画	13
8.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価 の結果並びに違反、訴訟等の有無	15
9.代表者による全体評価と見直しの結果	15
10.三友式土留工法	16

1.組織概要

会社名
代表取締役

三友工業株式会社
古林 隆生

所在地

本社： 〒812-0063
福岡県福岡市東区原田1丁目19-25

資材置場： 福岡県福岡市東区原田1丁目1163-5

環境管理責任者
連絡担当者

古林 和代
中村 賢市
TEL 092-629-1335
FAX 092-629-1313
E-mail sanyuu@cello.ocn.ne.jp

事業内容

RC・FRP合併処理浄化槽工事、産業排水処理施設工事、
地下構造物潜函工事、一般土木工事、管工事
・HP <https://www.sanyuukougyou.jp>

事業規模

区分	2024年度
資本金	2,000 万円
売上高	440 百万円
従業員	14 名
延床面積	
本社	163.77 m ²
資材置場	170 m ²
倉庫	40 m ²

事業年度

4月～翌年3月
(エコアクション21事業年度は10月～翌年9月とした)

2.認証・登録の対象範囲

対象事業所

本社、資材置場

対象活動

土木工事、とび・土工工事業、管工事業、鋼構造物工事業、
舗装工事業、水道施設工事業

対象外組織・活動

なし（全組織・全活動を対象とする）

3. 環境経営方針

三友工業株式会社は、合併処理浄化槽や排水処理施設等の建設工事を通じて社会に貢献し、より良い地球環境の実現に向けて、積極的に環境への取組を推進します。

このため、環境経営システムを構築・運用し、適時見直しながら環境経営の継続的改善に努めます。

1. 次の項目を重点項目として継続的に取り組み、改善に努めます。
 - (1) 電力、燃料等のエネルギーの効率的な使用及び省エネに努め、二酸化炭素排出量を削減します。
 - (2) 産業廃棄物排出量を削減します。
 - (3) 節水に努め、水使用量を削減します。
 - (4) 事務所グリーン購入に努め、建設資材等の環境配慮製品の使用を推進します。
 - (5) 環境経営を推進する取組に努めます。
2. 当社の事業に関連する環境関連法規等を遵守します。
3. 地域貢献活動を推進します。
4. 三友式土留工法を広める。
5. SDGsの活動を通して健康経営に努めます。

制定日 2020年9月30日

改訂日 2023年12月25日

三友工業株式会社
代表取締役 古林 隆生

4. 環境経営目標

- 環境経営目標は、当社の事業活動を踏まえて、2022年度～2025年度までの中期目標として、以下の8項目14目標をサイト区分（事務所、現場、全体）して設定しました。
- 主要な環境負荷である二酸化炭素排出量等については、基準年（2019年度実績値）を基準に、毎年1%ずつ削減し、2025年度までに6%削減を目指します。
- 事業活動で取り組む本業目標については、「環境配慮型製品（資材や重機等）の使用」を掲げ、全社をあげて取り組んで環境経営を推進していきます。
- また、当社独自工法「三友式土留工法」を広めていく数値目標として、現場での採用率29%を目指します。
- SDGsの活動として、健康経営に努めます。

環境経営目標	サイト区分	単位	基準年	目標				
			2019年度実績値	2022年度(3%削減)	2023年度(4%削減)	2024年度(5%削減)	2025年度(6%削減)	
			2019.10～2020.9	2022.10～2023.9	2023.10～2024.9	2024.10～2025.9	2025.10～2026.9	
1. 二酸化炭素排出量の削減	全体	kg・CO ₂	81,932	79,474	78,655	77,835	77,016	
① 電気使用量の削減	事務所	kWh	12,030	11,669	11,549	11,429	11,308	
	現場	kWh	1,587	1,539	1,524	1,508	1,492	
② ガソリン使用量の削減	事務所	L	5,121	4,967	4,916	4,865	4,814	
	現場	L	10,976	10,646	10,536	10,427	10,317	
③ 軽油使用量の削減	現場	L	14,043	13,622	13,481	13,341	13,200	
2. 廃棄物排出量の削減								
① 一般廃棄物排出量の削減	事務所	kg	2020年度実績 305	2%削減 299	3%削減 296	4%削減 293	5%削減 290	
② 産業廃棄物リサイクル率の増加	現場	%	—	90	90	90	90	
3 水使用量の削減	全体	m ³	306	297	294	291	288	
4 グリーン購入の推進	全体	—	不明	グリーン購入に努める				
5 環境配慮型資材や重機の使用	現場	—	—	環境配慮型資材や重機の使用に努める				
6 地域貢献活動の推進	全体	—	—	毎朝事務所前のごみ拾い・一人一花運動への参加				
7 三友式土留工法を知ってもらう。	全体	—	—	ホームページで紹介する。	採用率を把握する。 (採用率28%)	採用率29%	30%	
8 SDGsに取り組む	全体	—	—	—	行政のSDGs登録制度に登録する	健康経営を通してSDGs活動に取り組む。		

5. 環境経営計画

・環境経営目標を達成するため、以下の具体的な取組（達成手段）を設定して、全社員で取り組みました。

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標		サイト区分	達成手段	担当者	スケジュール
①	電気使用量の削減	事務所	1 エアコン設定温度は室温が夏は27度、冬は21度になるように設定する。	中村	冷房期：5～9月 暖房期：11～3月
			2 不要な時は消灯する。		通年
			3 定期的にあコンフィルターの清掃を行う。		通年
		現場	1 夏は出来るだけ自然風を取り入れる。	現場代理人	通年
2 こまめな消灯を行う。	通年				
②	ガソリン・軽油使用量の削減	全体	1 エコドライブを心掛ける。	古林 豊永	通年
			2 タイヤの空気圧の点検。		通年
			3 車両を離れる時、長時間走らない時はエンジンを停止する。		通年
			4 通勤・近場の移動には自転車使用を推奨。		通年

2. 廃棄物排出量の削減

取組目標		サイト区分	達成手段	担当者	スケジュール
①	一般廃棄物排出量の削減	事務所	1 使えるものは裏紙として使用する。	古林 中村	通年
			2 ハンカチ、水筒、エコバックの持参。		通年
②	産業廃棄物リサイクル率の増加	現場	1 コンクリート、アスファルトがら、建設木材等は再資源化施設へ持ち込む。	現場担当者	通年
			2 再生材料を利用する。		通年

3. 水使用量の削減

取組目標		サイト区分	達成手段	担当者	スケジュール
①	水使用量の削減	全体	1 水をこまめに止めるなどの節水を心掛ける。	中村 豊永	通年

4. グリーン購入の推進

取組目標		サイト区分	達成手段	担当者	スケジュール
①	グリーン購入に努める	全体	1 環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入する	古林	通年

5. 環境配慮製品（資材、重機等）の使用

取組目標		サイト区分	達成手段	担当者	スケジュール
①	環境配慮型資材や重機の使用	現場	1 低排出ガス・低騒音型重機を使用する。	現場担当者	通年
			2 再生資材を使用する。		通年

6. 地域貢献活動の推進

取組目標		サイト区分	達成手段	担当者	スケジュール
①	一人一花運動・ながら防犯の実施	事務所	1 毎朝事務所前のごみ拾いをする。	中村	通年
			2 挨拶、声かけ等をし、ながら防犯をする。		通年
		現場	1 一人一花運動への参加。	現場代理人	通年

7. 三友式土留め工法を広める。

取組目標		サイト区分	達成手段	担当者	スケジュール
①	三友式土留め工法を広める。	全体	1 三友式土留工法の現場での採用率29%を目指す。	古林 中村(賢) 中村(龍)	通年

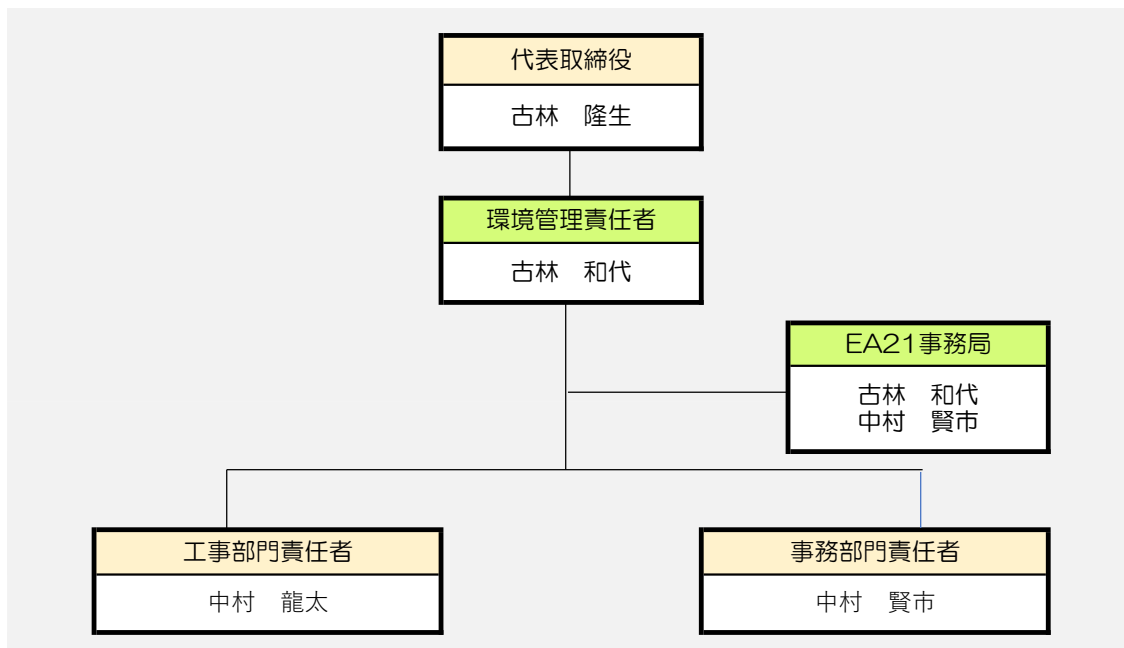
8. SDGsに取り組む。

取組目標		サイト区分	達成手段	担当者	スケジュール
①	SDGsに取り組む。	全体	1 健康経営を軸にSDGs活動に取り組む。	古林 中村(賢) 中村(龍)	通年

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

- 環境経営システムを運用し、環境経営を推進するため、社内に次のような実施体制を作り、環境への取組を実施しました。

(1) エコアクション21実施体制



役割分担表

所 属	役割・責任・権限
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> 代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする 環境経営方針を作成・見直し、従業員に周知する 各部門の責任者を任命する 環境への取組を実施するための資源（人・もの・金）を準備する E A 2 1 全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> E A 2 1 ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築、実行し、環境実績を向上させる。 毎年、環境経営目標、環境経営計画を作成する。 3か月に1回、環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況を確認・評価し、問題点が発生した場合は是正等を検討する。 上記の結果を代表者に報告する。
E A 2 1 事務局	<ul style="list-style-type: none"> E A 2 1 文書及び記録類、及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う 社外からの環境情報の収集と伝達を行う
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画を部門全員に周知する 環境経営目標達成のため、責任を持って自部門の環境活動を推進する 自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する 自部門に関連する法規制等を順守する 自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する 自部門の教育・訓練を実施する
従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

(2) 2024年度に実施した環境への取組

- ・環境経営計画に基づき以下の取組をSDGs（17のゴール）と紐付けて実施しました。

1. 二酸化炭素排出量の削減

(1) 電気使用量の削減



- ・本社事務所の室温は、冷房27℃、暖房21℃とし、温度計を設置してエアコンで調節しています。
- ・こまめな消灯、昼休みの消灯を励行しました。
- ・LED照明を導入しています。



節電の呼びかけと実施



昼休みの消灯



LED照明の導入

(2) ガソリン、軽油使用量の削減



- ・エコドライブを心がけています（急減速、急加速、無駄なアイドリングはさける）
- ・ガソリンスタンド利用時にタイヤの空気圧を点検しています。
- ・車両を離れるときはエンジンを切っています。
- ・不用品を車両から降ろしています。





タイヤ・空気圧の点検



unnecessary 荷物の積み出し禁止

4. グリーン購入の推進

- ・事務用品は環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入するに使用する

環境ラベルで物品を購入

5. 環境配慮製品（資材、重機等）の使用

- ・工事で使用する重機は低排出ガス・低騒音型重機を調達している
- ・工事で使用する資材は再生資材を使用している




再生資材(クラッシュラン等)

低騒音・低振動の機械使用

6. 地域貢献活動の推進

- ・一人一花運動への参加





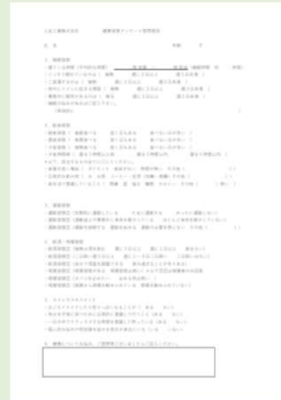
8. SDGsに取り組む

・SDGs登録制度に登録済



健康に関するアンケート調査の実施

健康講習会を実施



健康経営優良法人に認定されました！



7. 環境経営目標及び環境経営計画の実施・取組結果とその評価、並びに次年度の計画

(1) 環境経営目標の実績

- ・2024年度運用期間の環境経営目標達成状況は以下のとおりであり、設定した環境経営目標8項目14目標のうち、8項目11目標で目標を達成できました。
- ・二酸化炭素排出量については、事務所のガソリン使用量と現場の軽油使用量を大幅に減らすことができ、結果的に全社で目標達成率122%となりました。
- ・一般廃棄物についても目標を達成することができました。
- ・本業目標である「環境配慮製品（資材、重機等）の使用」、「三友式土留工法を知ってもらう」についても目標を達成し、今後もこの取組を継続していきます。

環境経営目標	サイト区分	単位	基準年 (2019年度 実績値)	2024年度 (2024.10~2025.9)		目標 達成率	評価
				目標	実績		
1. 二酸化炭素排出量の削減	全社	kg・CO ₂	81,932	77,835	63,911	122%	◎
① 電気使用量の削減	事務所	kWh	12,030	11,429	10,394	110%	○
	現場	kWh	1,587	1,508	2,020	75%	×
② ガソリン使用量の削減	事務所	L	5,121	4,865	2,315	210%	◎
	現場	L	10,976	10,427	8,689	120%	◎
③ 軽油使用量の削減	現場	L	14,043	13,341	6,865	194%	◎
2. 廃棄物排出量の削減							
① 一般廃棄物排出量の削減	事務所	kg	2020年度 305	(4%削減) 293	292	100%	○
② 産業廃棄物リサイクル率の増加	現場	%	—	90	83	92%	△
3 水使用量の削減	全体	m ³	306	291	341	85%	△
4 グリーン購入の推進	全体	—	不明	グリーン購入に 努める	グリーン購入に 努めた	—	○
5 環境配慮型資材や重機の使用	現場	—	—	環境配慮型資材 や重機の使用に 努める	環境配慮資材や 重機の使用に 努めた	—	○
6 地域貢献活動の推進	全体	回	—	事務所周辺の清 掃活動・一人一 花運動への参加	実施できた	—	○
7 三友式土留工法を知ってもらう。	全体	—	—	現場採用率 29%	34%	—	○
8 SDGsに取り組む。	全体	—	—	健康経営を通し てSDGs活動に 取り組む。	健康経営に取り 組めた。	—	○

備考) 1.目標達成率の計算 目標÷実績×100(削減目標の場合)、実績÷目標×100(増加目標の場合)

2.評価区分 ◎(達成率120%以上) ○(100%以上120%未満) △(達成率80%以上100%未満) ×(達成率80%未満) —(判定不可)

(2) 環境経営計画の実施・取組結果とその評価

・2024年度運用期間中における環境経営計画の実施状況は以下のとおりであり、良好な結果となっています。

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標		サイト区分	達成状況	達成手段	実施状況	評価
① 電気使用量の削減		事務所	○	1 エアコン設定温度を室温が夏は27度、冬は22度にする。	○	全体的に実施できているが、現場の電気使用量が未達成となっているので、今後は鉄筋加工機のアイドルリングストップの徹底もしていきたい。
				2 不要な時は消灯する。	○	
				3 定期的にはエアコンフィルターの清掃を行う。	○	
		現場	×	1 出来るだけ自然風を取り入れる。	○	
				2 こまめな消灯を行う。	○	
② ガソリン・軽油使用量の削減		全体	◎	1 エコドライブを心掛ける。	○	目標を大きく達成することができた。今後も継続していきたい。
				2 タイヤの空気圧の点検。	○	
				3 車を離れる時、長時間走らない時はエンジンを停止する。	○	
				4 近場の移動には自転車を使用する。	○	

2. 廃棄物排出量の削減

取組目標		サイト区分	達成状況	達成手段	実施状況	評価
① 一般廃棄物排出量の削減		事務所	○	1 使えるものは裏紙として使用する。	○	目標を達成できた。今後もハンカチや水筒の持参を呼びかけていきたい。
				2 ハンカチ、水筒、エコバックの持参。	○	
				3 コピー用紙の裏紙使用。	○	
② 産業廃棄物リサイクル率の向上。		現場	△	1 コンクリート、アスファルトがら、建設木材は再資源化施設へ持ち込む。	○	可能な限り取り組んでいる。
				2 再生材料を使用する。	○	

3. 水使用量の削減

取組目標		サイト区分	達成状況	達成手段	実施状況	評価
① 水使用量の削減		全体	△	1 水をこまめに止めるなどの節水を心掛ける。	○	目標をわずかに未達成となったので、今後より一層節水を呼び掛けていきたい。

4. グリーン購入の推進

取組目標		サイト区分	達成状況	達成手段	実施状況	評価
① グリーン購入に努める		全体	○	1 環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入する。	○	今後も継続していきたい。

備考 達成状況判定区分 ◎(達成率120%以上) ○(100%以上120%未満) △(達成率80%以上100%未満) ×(達成率80%未満) ー(判定不可)

実施状況判定区分 ◎:よく実施できている(定着) ○:実施できている △:一部実施できていない ×:実施できていない ー:判定不可

5. 環境配慮製品（資材、重機等）の使用

取組目標		サイト区分	達成状況	達成手段	実施状況	評価
①	環境配慮型資材や重機の使用	現場	○	1 低排出ガス・低騒音のものを使用する。	○	今後も継続していきたい。
				2 再生資材を使用する。	○	

6. 地域貢献活動の推進

取組目標		サイト区分	達成状況	達成手段	実施状況	評価
①	事務所周辺の清掃活動 一人一花運動への参加	事務所	○	1 毎朝事務所前のごみ拾いをする。	○	一人一花運動への参加、毎朝のごみ拾いができていた。 今後も継続していきたい。
				2 挨拶、声掛け等をし、ながら防犯をする。	○	
		全体	○	1 一人一花運動への参加。	○	

7. 三友式土留工法を知ってもらう。

取組目標		サイト区分	達成状況	達成手段	実施状況	評価
①	三友式土留工法を知ってもらう。	事務所	○	1 三友式土留工法の採用率29%を目指す。	○	採用率目標を達成できましたが、採用率は元請次第で大きく左右されるので、今後は外部へのアピールや営業することに重点を置き、数値目標は定めずに取り組んでいきたい。

8. SDGsに取り組む

取組目標		サイト区分	達成状況	達成手段	実施状況	評価
①	SDGsに取り組む。	全体	○	1 健康経営を軸にSDGs活動に取り組む。	○	健康経営に取り組み、健康優良法人にも認定されました。 今後も継続していきたい。

備考 達成状況判定区分 ◎(達成率120%以上) ○(100%以上120%未満) △(達成率80%以上100%未満) ×(達成率80%未満)
—(判定不可)

実施状況判定区分 ◎:よく実施できている(定着) ○:実施できている △:一部実施できていない ×:実施できていない —:判定不可

(3) 次年度の計画

1) 環境経営目標

- ・次年度の環境経営目標については、本年度の目標達成状況が概ね良好な結果となっていたため、中長期目標で設定した2025年度目標値をそのまま適用することとしました。
- ・主な見直し点は、現場の電気使用量削減目標の数値を原単価での目標としました。また、三友式土留工法を広める目標の数値化を廃止しました。

※赤字は見直し点

環境経営目標	サイト区分	単位	基準年	目標				
			2019年度実績値	2024年度(5%削減)	2025年度(6%削減)	2026年度(7%削減)	2027年度(8%削減)	
			2019.10~2020.9	2024.10~2025.9	2025.10~2026.9	2026.10~2027.9	2027.10~2028.9	
1. 二酸化炭素排出量の削減	全体	kg・CO ₂	81,932	77,835	77,016	76,197	75,377	
① 電気使用量の削減	事務所	kWh	12,030	11,429	11,308	11,188	11,068	
	現場	kWh	2024年度原単価5.06		2024年度より1%削減 5.01	2024年度より2%削減 4.96	2024年度より2%削減 4.91	
② ガソリン使用量の削減	事務所	L	5,121	4,865	4,814	4,762	4,711	
	現場	L	10,976	10,427	10,317	10,207	10,097	
③ 軽油使用量の削減	現場	L	14,043	13,341	13,200	13,060	12,920	
2. 廃棄物排出量の削減								
① 一般廃棄物排出量の削減	事務所	kg	2020年度 305	(4%削減) 293	(5%削減) 290	(6%削減) 287	(7%削減) 284	
② 産業廃棄物リサイクル率の増加	現場	%	—	90	90	90	90	
3 水使用量の削減	全体	m ³	306	291	288	285	282	
4 グリーン購入の推進	全体	—	不明	グリーン購入に努める				
5 自らが施工する土木、建築物等の環境性能の向上	現場	—	—	環境配慮型資材や重機の使用に努める				
6 地域貢献活動の推進	全体	—	—	一人一花運動に参加する。				
7 三友式土留工法を広める。	全体	—	—	採用率 29%を目指す。	外部へのPR、営業をする。			
8 SDGsに取り組む	全体	—	—	健康経営を通してSDGs活動に取り組む。				

備考) 1.購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.574kg-CO₂/kWh (auでんき 2018年度調整後排出係数) を使用した。

2.化学物質は使用実績がないため目標から除外した。

3.サイト区分の全体とは事務所+現場を示す。

2) 環境経営計画

・次年度の環境経営計画については、本年度の取組実施状況から取組メニューの若干の見直しを行い、以下の計画としました。

1. 二酸化炭素排出量の削減

※赤字は見直し点

取組目標	サイト区分	達成手段	担当者	スケジュール
① 電気使用量の削減	事務所	1 エアコン設定温度を室温が夏は27度、冬は22度を目安に設定する。	事務部責任者	冷房期：5～9月 暖房期：11～3月
		2 不要な時は消灯する。		通年
		3 定期的にエアコンフィルターの清掃を行う。		通年
	現場	1 夏は出来るだけ自然風を取り入れる。	現場担当者	通年
		2 こまめな消灯を行う。		通年
		3 鉄筋加工機の「アイドルストップ」を徹底する。		通年
② ガソリン・軽油使用量の削減	全体	1 エコドライブを心掛ける。	事務部・工事部責任者	通年
		2 タイヤの空気圧の点検。		通年
		3 車を離れる時、長時間走らない時はエンジンを停止する。		通年
		4 通勤・近場の移動に自転車使用を推奨		通年

2. 廃棄物排出量の削減

取組目標	サイト区分	達成手段	担当者	スケジュール
① 一般廃棄物排出量の削減	事務所	1 使えるものは裏紙として使用する。	事務部責任者	通年
		2 ハンカチ・水筒・エコバックの持参。		通年
② 産業廃棄物リサイクル率の増加	現場	1 コンクリート、アスファルトがら、建設木材等は、再資源化施設へ持ち込む。	現場担当者	通年
		2 再生材料を利用する。		通年

3. 水使用量の削減

取組目標	サイト区分	達成手段	担当者	スケジュール
① 水使用量の削減	全体	1 水をこまめに止めるなどの節水を心掛ける。	事務部、工事部責任者	通年

4. グリーン購入の推進

取組目標	サイト区分	達成手段	担当者	スケジュール
① グリーン購入に努める	全体	1 環境への負荷ができるだけ少ない商品を選んで購入する。	事務部責任者	通年

5. 自らが施工する土木、建築物等の環境性能の向上

取組目標	サイト区分	達成手段	担当者	スケジュール
① 環境配慮型資材や重機の使用	現場	1 低排出ガス・低騒音のものを使用する。	現場担当者	通年
		2 再生資材を使用する。		通年

6. 地域貢献活動の推進

取組目標	サイト区分	達成手段	担当者	スケジュール
① 地域貢献活動の推進	事務所	1 毎朝事務所前のごみ拾いをする。	事務部責任者	通年
		2 挨拶、声かけ等をし、ながら防犯をする。		通年
	全体	1 一人一花運動への参加。	現場代理人	通年

7. SDGsに取り組む

取組目標	サイト区分	達成手段	担当者	スケジュール
① SDGsに取り組む	全体	1 健康経営を軸にSDGs活動に取り組む。	事務部	通年

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

- 当社の事業活動、製品及びサービスに適用される環境関連法規は次の通りです。
- 2025年10月3日に下記の環境関連法規等の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。
- また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

適用される法規等	適用される事項	遵守判定
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理・排出 マニフェストの交付・保管・知事への定期報告	○
建設リサイクル法	対象工事の届け出、再生資源化の実施、実施の報告	—
オフロード法	規制適合機械の使用	○
フロン排出抑制法	業務用エアコンの定期点検	○
浄化槽法	浄化槽によるし尿処理等	○

備考) 遵守判定区分 ○：遵守 ×：不遵守 —：判定不可

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

(1) 全体評価

- 環境経営目標は概ね達成できており、環境経営システムは正常に機能している。
- 現場の電気使用量が目標未達となったが、鉄筋加工の外注への依頼数の低下や全体の仕事量が増加した結果で、これはポジティブな成果であり、単なるエネルギーの浪費ではないことを確認しました。
- SDGsの取り組みとして、健康経営優良法人にも認定されましたので、引き続き取り組みを継続していきたい。

(2) 見直し結果

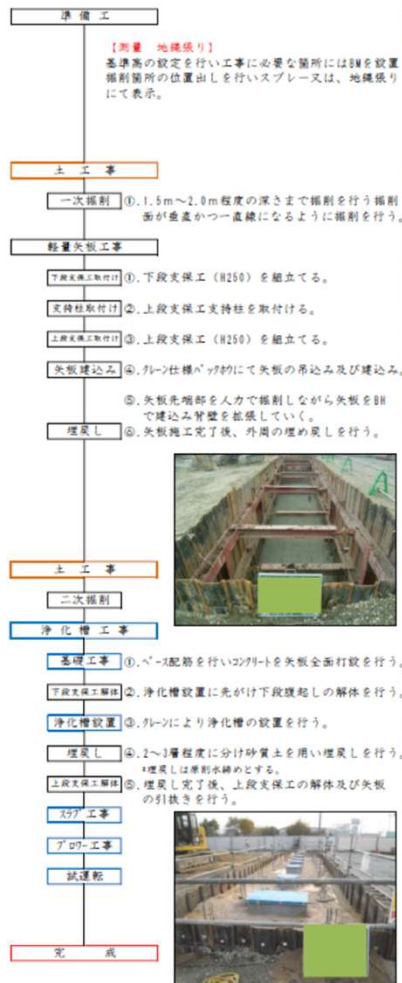
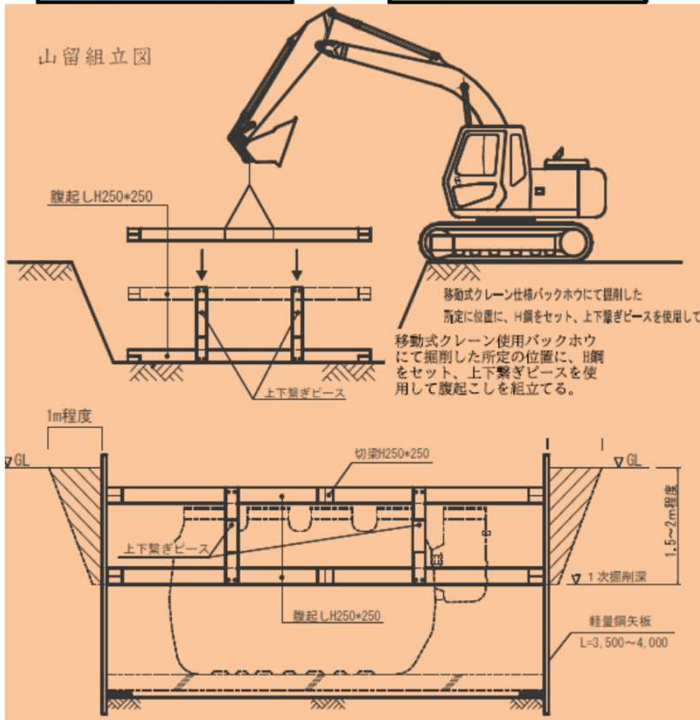
- 電気使用量の絶対量のみで評価するのではなく、次年度より「加工量あたりの電気使用量（原単位）」による評価へ移行します。
また、鉄筋加工機の運用においては、アイドルリングストップの徹底や段取りの効率化を図り、稼働増に伴うエネルギー負荷を最小限に抑える工夫を継続します。
- 次年度も節水の呼びかけや、ハンカチ、水筒持参の呼びかけなどをしてより環境意識を高めたいと思います。

三友式山留工法は、通常の山留工事と比べて、掘削深度が浅く、周辺への影響が出にくいです。
また、低コスト、スピーディーな施工も可能としています。

三友式山留工法

施工要領書





***FRP浄化槽に限らずオイルタンク、水槽等の埋設工事に適用できます。**

施工例

